

こうじ 工事の げんば 現場より

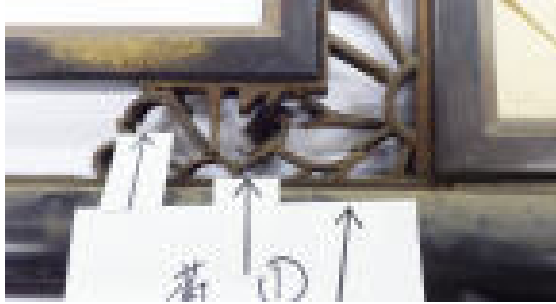
こうじ げんば りんしゅんかく とくべつしゅっちょう
工事現場の臨春閣から特別出張！

企画展特別 ver.

vol.3 第二屋



第二屋 彫刻欄間 (桐・菊)



彫刻欄間(桐・菊)は、彫刻部分が細かいパーツに分かれていて、パズルを組み合わせるみたいに組み合わさって梨地(黒漆に金粉を散らしたもの)の額を支えています。修理前は、あちこち傷んでいたものの全体で支えあって欄間の枠に抑え込まれて、何とか形を保っていました。取外しによって木の傷みが著しい箇所バランスが崩れてしまったので、今回再利用が難しい箇所は新しい木を彫って取り換えられています。木目も同じになるように注意し、色も整えている(古色)ので、よく見ないと修理箇所が分からない。現代の職人さんのスゴ技です。



職人さんのヒトコト

いつも扱っている組子も繊細な仕事ですが、こちらの彫刻欄間はとても厚みが薄いため、補修方法の検討や強度の確保に苦心しました。細かくバラバラになってしまっていたので欠けてしまった箇所が無いか心配していましたが、無事納められてほっとしています。



栄建具工芸 代表
横田栄一さん

第二屋 浪華十詠和歌色紙



彫刻欄間に収められた色紙は、実は木の薄い板に紙が貼られているので正確には「色紙板」。紙の汚れや破れのみならず、下地の板まで割れて破損していたため、大掛かりな修理となりました。長年積みもった埃や汚れを取り去る「クリーニング」も実施し、金箔金粉の輝かしい色合いが戻ってきています。

職人さんのヒトコト

色紙板に張られた作品は紙本であり、経年による汚れや亀裂が発生していましたが、今回の作業で洗浄や亀裂修理、旧下張り紙を全て取り替えて、新たに裏打を直した作品を板に張り戻しました。これにより作品自体の強度も上がり、次世代へ作品を繋ぐ事が出来ました。



物部画仙堂 伝統工芸士
物部泰典さん

第二屋

彫刻欄間(桐)

住之江の間

浪華の間

浪華十詠和歌色紙

彫刻欄間(菊)

琴棋書画の間

繋の間



個々に修理をした彫刻欄間と色紙、最後には元に戻す作業として色紙を彫刻欄間にはめ込む作業を両社立ち合いのもと行いました。緊張の瞬間！彫刻も色紙も傷まず、無事すべての色紙が額の中に収まりました。

